週期 720 秒（12 分）
●有效距離約 100 浬
備考　上記無線標識業務ハ告示セスシテ休止スルコトアルヘシ、而シテ必要アラハ船舶ノ要求アリタル場合ニノミ行ハルヘシ
注意　(1)海圖上 Cape Wickham 燈臺ノ略記ニ "(RC Stn.)" ヲ追記ス
(2)海圖 2757 號上上記燈臺ノ略記中光達 "24 M." ヲ "23 M." ニ改記ス
海圖　2757——803——813
誌類　誌 24B. 64 頁——†誌 100B. 1834 番——†(近刊)誌 100B. 1834 番
出所　Melbourne 告示 1941 年 4 項、英燈臺表 1939 年版第 10 卷

◎16 年 712 項（2 區）

Bering Sea 北部 Anaduirskii Gulf Anaduirskii Bay 北側—Observatsii Pt. 燈臺設置
記事　Observatsii Pt. 上下記位置ニ角錐形木造ノ燈臺（閃白光）ヲ設置セリ
位置　Observatsii Pt. ノ東北東方山頂 (113) ヨリ $254\frac{1}{2}°$　4,100 米
Lat. 64° 45′.5 N.　Long. 117° 32′.2 E.（概位）
略記　Fl. ev. 3 sec. (U)
細目　燈質閃白光、毎 3 秒ニ 1 閃（閃 0.3 秒、暗 2.7 秒）●構造角錐形木造、礎上高 6.1 米（20 呎）●無看守
注意　海圖（分圖「アナヅイル河口」共）上上記位置ニ★符ヲ記載シ略記ヲ附記ス
海圖　1340（分圖「アナヅイル河口」共）—3501
誌類　†誌 11B. 326 頁——†誌 100A. 1861 番ノ前a（挿入）
出所　米告示 1941 年 1509 項

◎16 年 713 項（2 區）

British Columbia　Queen Charlotte Is.　Graham I. 西岸—Louis Point 南方　破浪存在
記事　Port Louis 入口南角ナル Louis Point（地名圖載無シ）北角ノ南南西方約 1.5 浬ニ於テ毎 2 分乃至 3 分ニ甚シク破浪スルヲ距離 3 浬ノ海上ヨリ視認セリ
位置　Louis Point 北角ノ南南西方　約 1.5 浬
Lat. 53° 40′.2 N. Long. 133° 03′.1 W.
注意　海圖上上記位置ニ ◌ 符ヲ記載シ「破浪ス（1941 年）」ヲ附記ス
海圖　3562
誌類　誌 32B. 359 頁
出所　米告示 1941 年 1549 項

◎16 年 714 項（2 區）

U. S. A.　Washington　Puget Sound　Lake Washington Ship Canal—Salmon B. 中央附近　浮標碇置
記事　Salmon B. 水道中央東側下記位置ニ Salmon B. No.1 黒塗圓壺形浮標ヲ碇置セリ
位置　閘門東口北側ニ在ル Upper Guide Wall 燈竿（不動紅光）ヨリ　$113\frac{1}{2}°$　1,715 米
Lat. 47° 39′.5 N.　Long. 122° 22′.1 W.（概位）
様式　黒塗圓壺形浮標
注意　海圖（分圖「ワシントン湖運河西部」共）上上記位置ニ ▬ 符ヲ記載シ塗色 "B." 及呼稱 "(No.1)" ヲ附記ス
海圖　3643（分圖「ワシントン湖運河西部」共）
出所　米告示 1941 年 1540 項

◎16 年 715 項（2 區）

U.S. A.—Columbia River 河口　航路標識變設等ニ就テ
(1)記事　Desdemona Sands 西方下記位置ニ碇置セル Desdemona Sands No. 11 柱燈浮標（閃白光）ハ打鐘柱燈浮標ニ變更セリ
位置　Lat. 46° 13′.6 N.　Long. 123° 57′.9 W.（概位）
略記　Fl. (Bell) (No.11)
霧信號　霧鐘●其ノ他從前通
注意　(1)海圖上上記位置ニ記載セル黒塗圓壺形浮標ヲ ⛯ 符ニ、附記セル略記ヲ上記略記ニ各改記シ塗色 "B." ヲ附ス
(2)記事　Desdemona Sands 東方下記位置ニ碇置セル Middle Ground No.23 黒塗圓壺形浮標ハ柱燈浮標（閃綠光）ニ變更セリ
位置　Lat. 46° 11′.7 N.　Long. 123° 50′.1 W.（概位）
略記　Fl. G. (No.23)
細目　燈質閃綠光毎 4 秒ニ 1 閃（閃 0.4 秒、暗 3.6 秒）●燭光數 50 ●様式黒塗柱燈浮標●其ノ他不詳
注意　(2)海圖上上記位置ニ記載セル黒塗圓壺形浮標ヲ ⛯ 符ニ、附記セル呼稱 "C 23" ヲ上記略記ニ改記シ塗色 "B." ヲ附記ス
(3)記事　Quarantine Anchorage ノ南方下記位置ニ碇置セル Upper Sands No.2 柱燈浮標（閃紅光）ハ撤去セリ
位置　Lat. 46° 12′.1 N.　Long. 123° 48′.2 W.（概位）
略記　(Fl. R)
注意　(3)海圖上上記位置ニ記載スル紅塗柱燈浮標ヲ附記ノ略記及呼稱 "2" ト共ニ削除ス
(4)記事　Tongue Pt. Crossing No.3 柱燈浮標（閃白光）ハ其ノ南西方約 0.4 浬下記（イ）位置ニ移設シ Upper Sands No. 4 柱燈浮標（閃白光）ハ燈質ヲ閃紅光（毎 3 秒ニ 1 閃）ニ變更ノ上其ノ南西方約 0.36 浬下記（ロ）位置ニ移設セリ
位置　Tongue Point 燈竿（不動紅光）(Lat. 46° 12′.5 N. Long. 123° 46′.1 W. 概位）ヨリノ

| | 方位（度） | 距離（米） |
|---|---|---|
| （イ） | $310\frac{1}{2}$ | 1,100 |
| （ロ） | 259 | 2,540 |

略記　（イ）Fl.
（ロ）Fl. R
細目　（ロ）燈質閃紅光、毎 3 秒ニ 1 閃（閃 0.3 秒、暗 2.7 秒）●燭光數 40 ●其ノ他從前通
注意　(4)海圖上上記（イ）位置ニ ⛯ 符ヲ記載シ略記、呼稱 "(No.3)" 及塗色 "B." ヲ附記シ其ノ北東方約 0.4 浬ニ圖載セル黒塗柱燈浮標ヲ附記ノ略記及呼稱 "3" ト共ニ削除ス、又（ロ）ノ位置ニ ⛯ 符ヲ記載シ略記、呼稱 "(No.4)" 及塗色 "R." ヲ附記シ其ノ北東方約 0.36 浬ニ圖載セル紅塗柱燈浮標ヲ附記ノ略記及呼稱 "4" ト共ニ削除ス
海圖　3648
誌類　†誌 100c. 1515 番、1548 番、（削除、挿入）、1549 番、1552 番
出所　米告示 1941 年 1543 項

◎16 年 716 項（2 區）

India 東岸 Gulf of Manner—Tuticorin Hr. 附近—Church I. [Van Tivnu] 燈臺設置
記事　Church I. [Van Tivnu] 南部下記位置ニ燈臺（閃白光）ヲ設置セリ
位置　Hare I. 燈臺（閃白光）ヨリ　$19\frac{1}{2}°$　2.88 浬
Lat. 8° 49′.9 N.　Long. 78° 12′.3 E.（概位）
略記　Fl. ev. 2 sec. 36 ft. 10 M. (U)
細目　燈質閃白光、毎 2 秒ニ 1 閃（閃 0.4 秒、暗 1.6 秒）●燈高高潮面上 36 呎（11 米）●燭光數 207 ●光達 10 浬●構造白塗方尖形石造、礎上高 33 呎（10. 1 米）●無看守
注意　海圖上上記位置ニ★符ヲ記載シ略記ヲ附記ス
海圖　2969——2953——2903——3102
誌類　†誌 42. 115 頁——†誌 100B. 3234 番（挿入）——†（近刊）誌 100B. 3234 番（挿入）
出所　米告示 1941 年 1558 項

◎16 年 717 項（2 區）

Indian Ocean Seychelles Group—Denis I. 東方　淺礁存在
記事　Denis I. 北端ヨリ 81° 約 9 浬下記位置ニ水深 9.1 米（30 呎）ヨリ淺キ石花礁ノ淺礁アリ
位置　Lat. 3° 46′.5 S.　Long. 55° 49′.0 E.
底質　co
注意　海圖上上記位置ニ◌符ヲ記載シ海圖 3364 號上「(1941 年)」ヲ附記シ、至近ニ圖載セル 100 尋等深線ヲ該淺礁ノ北方ヲ過クル様改記ス
海圖　3361——3363
誌類　誌 43. 47 頁
出所　英告示 1941 年 1338 項

◎16 年 718 項（2 區）

Madagascar 北西岸　Bombetoke B.—Betsiboka R. 河口　指導線記載
記事　Betsiboka River 河口西側 Katsēpē 燈臺（閃白光）ト其ノ南南東方約 3.3 浬ニ在ル白塗家屋ヲ結フ一線ハ河內航路ノ中心線ヲ示ス
位置　Katsēpē 燈臺
Lat. 15° 43′.1 S.　Long. 46° 13′.5 E.（概位）
注意　(1)海圖上上記燈臺ヨリ $153\frac{1}{2}°$ ノ方向ニ指導線ヲ 9.1 浬間（初メ 6 浬間斷線爾余ハ實線）記載シ之ニ「白屋ト燈臺ト一線 $333\frac{1}{2}°$」ヲ附記ス
(2)海圖上 Katsēpē 燈臺ヨリ $153\frac{1}{2}°$ 約 3.3 浬ニ圖載セル 1 群ノ家屋符ニ「(白屋アリ)」ヲ附記ス
海圖　3329
誌類　誌 43. 329 頁
出所　米告示 1941 年 1507 項

◎16 年 719 項（2 區）

圖誌訂正
(1)海圖 2757 號
Australia 南岸 Bass Strait 西部 King I. 北端 C. Wickham 燈臺（群閃白光）ヨリ 355° 11 浬 (Lat. 39° 24′.6 S. Long. 143° 55′.8 E. 概位）ニ水深 "16" ヲ記載シ、「未精測」及「(1940 年)」ヲ各附記ス（Sydney 告示 1941 年 145 項）
(2)書誌 100 號 c
1776 番右欄ヲ別紙（1 枚）ニ依リ改記ス（1941 年米米 Light Lists 追補）

◎16 年 720 項

海圖新刊（2 區）

| 番號 | 圖名 | 圖積 |
|---|---|---|
| 1951 | クリスマス島<br>（分圖）フライング、フィッシュ浦 | 全 |
| 3160 | ヤス島附近<br>（分圖）ヤス島 | 全 |

◎16 年項外

(1)航行上注意スヘキ浮流物
（イ）紀伊水道—友ケ島燈臺ヨリ 180° 約 16 浬　傳馬船
8 月 1 日 0800 Lat. 34° 00′.6 N. Long. 135° 00′.3 E.（概位）ニ傳馬船（長サ約 15 米）水船トナリ漂流ス（海圖 106 號參照）（汽船高見山丸）
（ロ）內海　備後灘——六島燈臺ヨリ 227° 約 2.8 浬　漁船
7 月 31 日 Lat. 34° 15′.9 N. Long. 133° 29′.7 E.（概位）ニ漁船（長サ約 8 米）顚覆漂流ス（海圖 153 號參照）（下津井無線電信局）
（ハ）四國南岸——室戸埼燈臺ヨリ 169° 約 41.4 浬　浮標
7 月 29 日 1800 Lat. 32° 34′ N. Long. 134° 20′ E.（概位）ニ紅白縱線塗球型浮標 1 箇漂流ス（海圖 108 號參照）（汽船日愛丸）
（ニ）九州東岸——都井岬燈臺ヨリ 106° 約 21 浬　材木
8 月 4 日 1100 Lat. 31° 16′ N. Long. 131° 44′ E.（概位）ニ多數ノ材木（長サ約 5 米、直徑約 0.2 米）漂流ス（海圖 1221 號參照）（汽船吾妻山丸）
(2)北海道西岸—小樽港　手宮石炭高架棧橋繫船浮標使用停止
小樽港手宮石炭高架棧橋第 1 號、2 號及 3 號ノ各繫船浮標ハ補修工事ノ爲昭和 16 年 8 月 5 日ヨリ 10 日間使用ヲ停止ス
位置　（イ）第 1 號繫船浮標　Lat. 43° 12′.35 N. Long. 141° 00′. 62 E.（概位）
（ロ）第 2 號同上　（イ）ノ南南東方　約 120 米
（ハ）第 3 號同上　（イ）ノ東方　約 280 米
（海圖 5 號參照）（札幌鐵道局）
(3)マリアナ群島　サイパン島　サイパン港—龜ノ子礁　柱燈浮標復舊
15 年 792 項（一時關係）ヲ以テ破損消燈ノ旨告示セル「サイパン」港龜ノ子礁柱燈浮標（閃白光）(Lat. 15° 12′.0 N. Long. 145° 42′. 3E. 概位）ハ 8 月 4 日復舊セリ（海圖 2104 號參照）（日本郵船株式會社海務部）
(4)New Zealand　飛行機ニ依ル對船舶信號ニ就テ
1941 年 6 月 17 日以降 New Zealand 空軍及 New Zealand 海軍飛行機ハ一般船舶ニ對シ下記信號等ヲ使用スルヲ以テ注意ヲ要ス
飛行機ハ船舶ノ周圍ヲ旋囘シテ通信開始ヲ報知ノ上閃光ヲ以テ下記「モールス」信號ヲ送信ス

| 信號 | | |
|---|---|---|
| | WZ | 卽時停船 |
| | QL | 停船セヨ然ラサレハ發砲ス |
| | WS | 左舷ヘ囘頭セヨ |
| | WT | 右舷ヘ囘頭セヨ |
| | LMO | 何々ヘ進メ |

上記信號以外下記平文通信乃至國際信號ヲ以テ補足スルコトアリ、New Zealand 空軍及 New Zealand 海軍飛行機ニ依リ與ヘラレタル命令ニハ卽時服從スヘシ、船舶ニ就テ
(1)燈火信號機アル場合ニハ晝夜共 T ノ連續信號(2)同信號機ナキ場合ハ晝間ハ囘答旗ヲ揭ケ夜間ハ他ノ光ト適當ニ隔リタル箇所ニテ白燈ヲ打振リ上記信號ヲ確認スヘシ上記信號ヲ無視セル場合又ハ該飛行機ニ燈火信號機ナキ場合ハ該船舶ノ前方ニ機關銃ヲ發射シテ停船ヲ命ス其ノ際船舶ハ卽時之ニ從ヒ前記(1)(2)ノ方法ニ依リ確認スルコトヲ要ス（Wellington 告示 1941 年 15 項）

---

昭和 16 年 8 月 2 日官報揭載水路告示 30 號中 16 年 671 項位置及様式欄（ハ）中 "315" ハ "$315\frac{1}{2}$" 及 "$230\frac{1}{2}$" ハ "230"、同年 688 項(1)記事欄 1 行中 "Gray Hr." ハ "Grays Hr."、同年 690 項出所欄中「194 年 163 號」ハ「1941 年 63 號」、項外(2)標題中「北海道西岸」ハ「樺太西岸」及(9)（ロ）2 行中「船舶ハ」ハ「船舶ノ」孰モ誤

◎海軍大臣指定辯護士　八木力三ハ昨八日海軍軍法會議法第八十八條ニ依ル辯護士ニ指定セラレタリ（海軍省）

## ○財政

◎預金部狀況　昭和十六年七月三十一日現在預金部狀況左ノ如シ（千圓未滿切捨）（大藏省）

| 種別 | 金額 | 前月末ニ比シ増減 |
|---|---|---|
| 貸方ノ部 | | |
| 郵便貯金 | 千圓 八、四四四、九〇六 | 千圓 一三三、三三三 |
| 振替貯金 | 二七八、八一四 | △ 五四、五七五 |
| 報國債券、貯蓄債券及復興貯蓄債券收入金 | 八三三、八四四 | 三四、四三四 |
| 特別會計預金 | 七六三、〇四七 | △ 一九、八四九 |
| 基金及法人預金 | 四五、五六二 | 四〇二 |
| 保管金及供託金 | 五〇、五七六 | △ 六一八 |
| 預金部積立金 | 一、〇一五、一三三 | — |
| 預金部收入金 | 一〇六、七九七 | 三、四三二 |
| 合計 | 一一、五二八、六八三 | 八五、五四九 |
| 借方ノ部 | | |
| 國債證券 | 七、四一八、三九七 | 一〇九、八七八 |
| 一般會計及特別會計貸付金 | 一一〇、〇五〇 | — |
| 外國國債證券 | 一三九、五九一 | — |
| 地方債證券 | 一、二六九、一三六 | 三、七五七 |
| 地方公共團體等貸付金 | 三九一、五九五 | 九三三 |
| 特殊銀行等債券 | 八七六、九二五 | 一四、一九六 |
| 特殊會社社債券 | 六九二、九三三 | 二九、七七九 |
| 特殊銀行會社等貸付金 | 三〇一、五三四 | △ 三、三七〇 |
| 預金 | 一一三、六五二 | △ 七〇、四〇三 |
| 預金部支出金 | 二一四、九八四 | 七七六 |
| 合計 | 一一、五二八、六八三 | 八五、五四九 |

## ○產業

◎外國保險會社ノ日本ニ於ケル代表者變更　「ゼ、ホンコン、ファイア、インシュランス、コムパニー、リミテッド」及「ゼ、カントン、インシュランス、オフィス、リミテッド」ハ各其日本ニ於ケル代表者アリスター、マクドナルドヲ解任シ東京市麴町區丸ノ內二丁目十四番地株式會社「セール」商會方パーバート、クリスチー、レッパーヲ其後任トシテ選任シタル旨屆出アリタリ（商工省）

## ○通運

◎海員救濟事業外四件補助命令　海員救濟事業、海員養成事業及船舶職員養成事業ニ關シ社團法人日本海員救濟會ニ對シ、日本海運報國團補助及海員養成事業ニ關シ日本海運報國團ニ對シ昭和十六年四月一日ヨリ昭和十七年三月三十一日ニ至ル一箇年間夫々補助命令書ヲ下付シタリ（遞信省）

---

正誤

去月九日本欄海員審判所裁決ノ項中件名ノ部十行「第武宮丸」ハ「第武若宮丸」同十七日同項中五六一頁上段同部六行「第一播州丸」ハ「第十一播州丸」同下段受有免狀種類ノ部三行「發動機三等機關士」ハ「發動機船三等機關士」ノ孰モ報告誤

遞信書記官



第 4377 号　本文